

郵便のユニバーサルサービスに係る課題等に関する検討会（第1回）
議事要旨

- 1 日時：平成28年7月25日（月）16:00～16:45
- 2 場所：総務省10階 1001会議室
- 3 出席者：
 - (1) 構成員（五十音順）
井手構成員（座長代理）、関口構成員、竹内構成員、東條構成員、長田構成員、
村本構成員（座長）、山田構成員、米山構成員
 - (2) 事務局（総務省）
安藤郵政行政部長、岡崎企画課長、北林郵便課長、中山国際企画室長、牛山貯
金保険課長、梅村保険計理監理官、森田信書便事業課長、松岡郵政行政総合研
究官
- 4 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 郵政行政部長挨拶
 - (3) 構成員紹介
 - (4) 議題
 - ① 開催要綱（案）について
 - ② 座長・座長代理の指名について
 - ③ ワーキンググループの開催について
 - ④ 郵政事業のユニバーサルサービスの現状について
 - ⑤ 情報通信審議会答申概要について
 - ⑥ 検討スケジュール（案）について
 - ⑦ その他
 - (5) 閉会
- 5 議事要旨
 - (1) 開催要綱（案）について
事務局から資料1「「郵便のユニバーサルサービスに係る課題等に関する検討
会」開催要綱（案）」について説明し、案のとおり了承された。
 - (2) 座長・座長代理の指名について
開催要綱に基づき、村本構成員が座長に指名された。また、村本座長から井手
構成員が座長代理に指名された。
 - (3) ワーキンググループの開催について
開催要綱に基づき、本検討会の下で、ユニバーサルサービスを構成するサービ
スの現状と課題、ユニバーサルサービスの提供方法に係る現状と課題について整
理を行う「現状と課題等に関するワーキンググループ」及びユニバーサルサービ

スコストの算定手法の検討を行う「コストの算定手法等に関するワーキンググループ」を開催することとし、資料2「検討体制（案）」のとおり構成員が選出された。また、「現状と課題等に関するワーキンググループ」については米山構成員が、「コストの算定手法等に関するワーキンググループ」については関口構成員が、それぞれ主査に指名された。

(4) 郵政事業のユニバーサルサービスの現状について

(5) 情報通信審議会答申概要について

資料3「郵政事業のユニバーサルサービスの現状について」及び資料4「郵政事業のユニバーサルサービス確保と郵便・信書便市場の活性化方策の在り方について」について、事務局から説明した。主な質疑応答は次のとおり。

村本座長：答申で示した短期的方策のうち、消費税の特例措置はどうなったのか。

事務局：民営化以降継続して要望しているが、税務当局として政策的な税体系を消費税へ持ち込むのは他に例がないとして認められなかった。自民党税調としては引き続き検討となっている。日本郵政の話も聞きながら引き続き検討していきたい。

(6) 検討スケジュール（案）について

資料5「検討スケジュール（案）」について、事務局から説明した。主な質疑応答は次のとおり。

山田構成員：2つのワーキンググループの関係について、相互にフィードバックするのか、それとも独立した関係か。

事務局：何かしらフィードバックが必要な事情が生じたら、適宜対応させていただきます。

村本座長：2つのワーキンググループで、キャッチボールもあると思っている。

村本座長：必ずしも1年間かけて検討するのではなく、早期に実現すべき事項が出てきたら、「産み落とし方式」で早めに対応していくことも有り得ると思っている。また、審議会ではないので、必要に応じて、座長・座長代理もワーキンググループに参加するなど弾力的に対応する。

(7) その他

主な質疑応答は次のとおり。

長田構成員：現状と課題WGについて、高コスト地域の方の意見も聞く機会をつくって、検討会の整理に反映してほしい。

村本座長：事務局から説明があったように、地方の実情に詳しい方に構成員になっていただく予定。

事務局：次回の本検討会の開催日時は、別途連絡することになった。

以上